

キャリアアップMOTプログラム
平成24年度エッセンシャルMOTコースのご案内

 東京工業大学大学院
イノベーションマネジメント研究科


Tokyo Institute of Technology
Graduate School of Innovation Management
CUMOT Program

CUMOT



MOT(技術経営)とは、技術を創造しそれを知財として活用し事業化するというイノベーション創出サイクルのマネジメントです。先行きが不透明な中で未来を切り拓いていくため、産業・企業にとっては既存ビジネスの再構築や新ビジネスの創造が大きな課題となっており、イノベーションを創出する技術経営(MOT)がますます重要になっています。キャリアアップMOT「エッセンシャルMOT」コースは、次世代の企業経営を担う人材がMOTのマネジメントのエッセンスを学び、キャリアアップを図ることを目的としています。

東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科において、現在、技術経営を学んでいる学生の多くは社会人学生です。そこには様々な分野、企業・団体から修士、博士学生がMOTを学び、学びを通じた修了生を含めた新しいネットワークが生まれています。本プログラムも同様に、多くの方々がMOTを修得することによってキャリアアップを実現されるとともに、その学びを通じた交流で人的ネットワークを構築し、イノベーションを創出する場となることを期待しています。

 イノベーションマネジメント研究科長事務取扱
田辺孝二

エッセンシャルMOTコース(5期生) 募集要項

プログラム受講期間

平成24年4月～平成25年3月
月3回 全36回 水曜 19時～21時(予定)

※講義のほか、グループ課題等の提出を前提とした自宅学習を想定しております。
※科目によっては一部、変更になる場合があります。

受講対象者

- ・次世代の企業経営を担う社会人の方
例)若手後継者、技術系管理職、幹部候補生、経営企画職、ベンチャー企業経営者、等
- ・「教わる」ではなく自ら「学ぶ」という意識をお持ちの方

受講場所

東京工業大学田町キャンパス(東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター)
※詳細は交通案内をご覧ください

申込期間

平成24年1月16(月)～平成24年2月10日(金)
(締切日必着)
※1次募集にて定員に達した場合、2次募集を行わない場合がございますのでご了承ください。

受講料

252,000円(税込)
※お支払い方法については開講後(4月1日～4月10日まで)に振込みにて手続きをしていただく予定です。お振込み後の受講料の返還はいたしませんのでご了承ください。

募集人数

20名

申込方法

願書に必要事項をご記入のうえ下記の住所までお送りください(締切日必着)。願書はwebサイトからダウンロードできます。

〒108-0023
東京都港区芝浦3-3-6
キャンパス・イノベーションセンター705
CUMOT事務局
キャリアアップMOTエッセンシャルMOTコース受講申込

受講審査・受講通知

願書をお送りいただいた後、志望理由書ならびに推薦状にもとづく書類審査をいたします(一括審査)。受講通知についてはメールまたはお電話にてご連絡いたします(後日、受講認定証を通知)。

お問い合わせ

東京工業大学大学院
イノベーションマネジメント研究科CUMOT事務局
問い合わせ先E-mail:
cumot-info@mot.titech.ac.jp
WebサイトURL:
<http://www.mot.titech.ac.jp/cumot/>

※1月にプログラム説明会(田町キャンパス)を開催予定です。詳細・最新情報についてはWebサイトをご覧ください。

プログラム修了の認定

修了者にはイノベーションマネジメント研究科長名の「修了証書」を交付いたします。評価については、出席状況を含め、担当教員ごとに行います。

プログラムの概要 一年間の流れ

年間スケジュールと担当講師(予定)

| 月 | 講義名 | 担当講師 | 所属 |
|-----|-------------------------|----------------|-------------------------------|
| 4月 | イノベーション論(講義&演習) | 藤村 修三 | 東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科教授 |
| 5月 | 企業経営とMOT(講義&演習) | 田辺 孝二 | 東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科教授 |
| 6月 | 技術経営戦略論(講義&演習) | 森本 博行 | 首都大学東京大学院社会科学部研究科教授 |
| 7月 | 人財/組織マネジメント(講義&演習) | 高間 邦男 | 株式会社ヒューマンバリュー代表取締役 |
| 8月 | 企業経営(グループ演習1) | 白井 宏明 | 横浜国立大学大学院国際社会科学部研究科教授(経営学部兼任) |
| 9月 | 企業戦略(グループ演習2) | 中野 健次 | 東京工業大学特別研究員/株式会社サムスン横浜研究所顧問 |
| 10月 | ファイナンス&アカウンティング(講義&演習) | 杉山 慎治 | ソニー銀行株式会社執行役員 |
| 11月 | グローバル戦略マーケティング(グループ演習3) | ジェフリー B. シュナック | スリーロック株式会社代表取締役社長 |
| 12月 | 知識マネジメント(講義&演習) | 妹尾 大 | 東京工業大学大学院 社会理工学研究科准教授 |
| 1月 | 知的財産戦略マネジメント(講義&演習) | 京本 直樹 | 京本特許事務所所長 |
| 2月 | 経営品質マネジメント(講義&演習) | 長田 洋 | 東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科教授 |
| 3月 | プロジェクトマネジメント(グループ演習4) | ジェフリー B. シュナック | スリーロック株式会社代表取締役社長 |

※東工大イノベーションマネジメント研究科教員のプロフィール詳細は、webサイト(<http://www.mot.titech.ac.jp/faculty>)をご参照ください。
 ※スケジュールは科目の実施月の目安です。スケジュールの詳細は、webサイト(http://www.mot.titech.ac.jp/cumot/es_curriculum.html)をご参照ください。

学習形態と1ヶ月間の流れ

学習形態は科目によって「講義&演習」と「グループ演習」の2パターンがあります。1科目の学習の流れは表のようになっております。※科目によっては、一部、内容が変更される場合があります。

| 学習形態 | 1週目 | 2週目 | 3週目 |
|--------|--|---|---|
| 講義&演習 | 各教科分野に関する基礎知識を受講し、課題が提示されます。 | | 課題発表とQ&Aおよびディスカッション、講評を行います。課題発表を踏まえたまとめの講義なども行います。 |
| (自己学習) | 学習者は、自らの既得知識レベルや週末などの自由時間に合わせて推奨書籍やeラーニングコンテンツ等(学習環境は自己負担)によって個別学習をします。また、提示された課題を検討します。 | | |
| グループ演習 | テーマごとにシミュレーションツールを用い、課題を提示し、グループ学習をします。 | グループ別に課題を討議し、発表用資料を検討・作成します。さらに各自、週末などを活用して議論の質を高めながら、発表用資料を更新していきます。 | 発表&講評 |
| (自己学習) | 週末などの自由時間に各課題について各自、検討します。webベースで意見交換、ファイルの共有等を行います。 | | |

事業担当からのメッセージ



比嘉 邦彦 教授
Kunihiko Higa Ph.D.
東京工業大学大学院
イノベーションマネジメント研究科

主な研究テーマ

2つのクラウドによる経営革新, 組織戦略としてのテレワーク, 持続可能な地域社会モデル, E-コマースの評価・分析モデル, 分散環境におけるコミュニケーションと情報共有支援システムなど。

メッセージ

社会人の方が働きながらMOTのエッセンスを学ぶ機会をご用意しました。受講者にとって価値ある知識の修得と人脈の構築にお役立ていただければと思います。他にも社会人の学習機会として、MOTに関連する分野特化型プログラムも複数提供して受講生の皆様方から大変な好評を得ていますので、是非、継続学習にご利用下さい。

講師代表からのメッセージ



藤村 修三 教授
Shuzo Fujimura Ph.D.
東京工業大学大学院
イノベーションマネジメント研究科
担当科目 イノベーション論

主な研究テーマ

イノベーション理論, アーキテクチャ理論, 高次産業創造過程, 技術者の社会的役割, イノベーション推進人材の育成, イノベーションに対する大学の役割, など

メッセージ

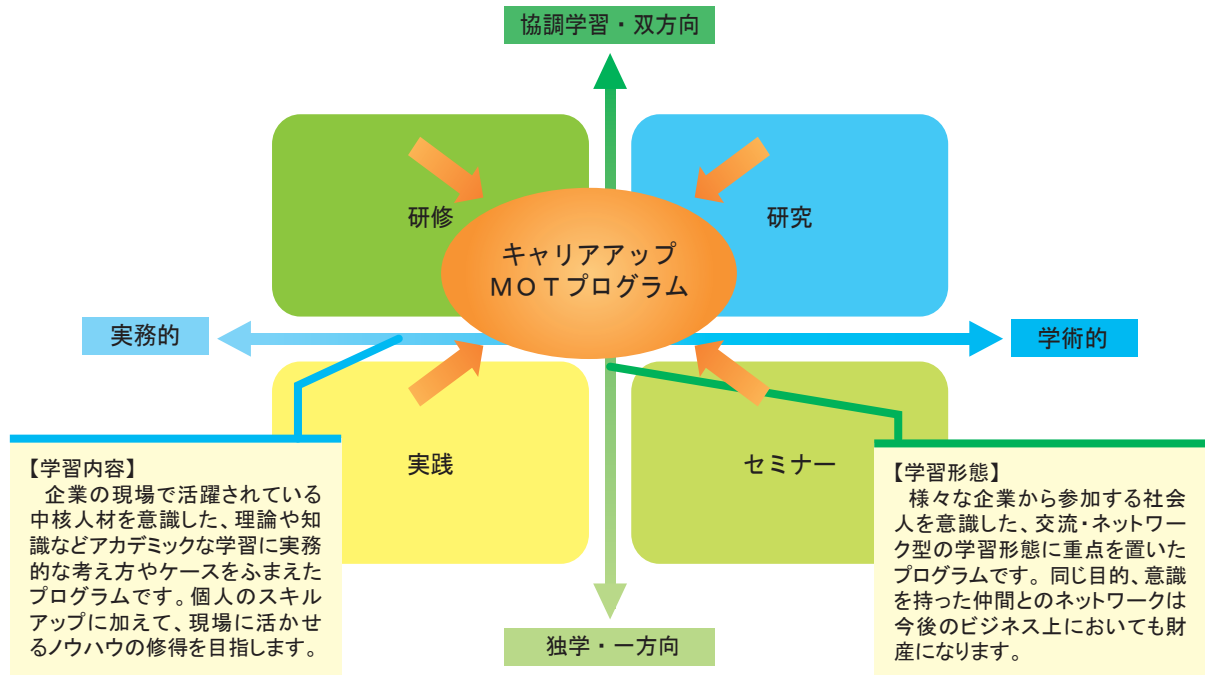
IT技術の進歩に伴い、キャッチアップ・スピードが上がり、一つの優位性により利益が得られる期間は大幅に短縮しています。企業が利益を生み発展を続けるには、革新により差異を生み出し、利益に繋げることが求められます。利益に繋がる革新、これがイノベーションです。講義ではイノベーションを高い確率で実現する経営について共に考えていきたいと思っています。

キャリアアップMOTプログラムの位置づけ

本プログラムの位置づけ

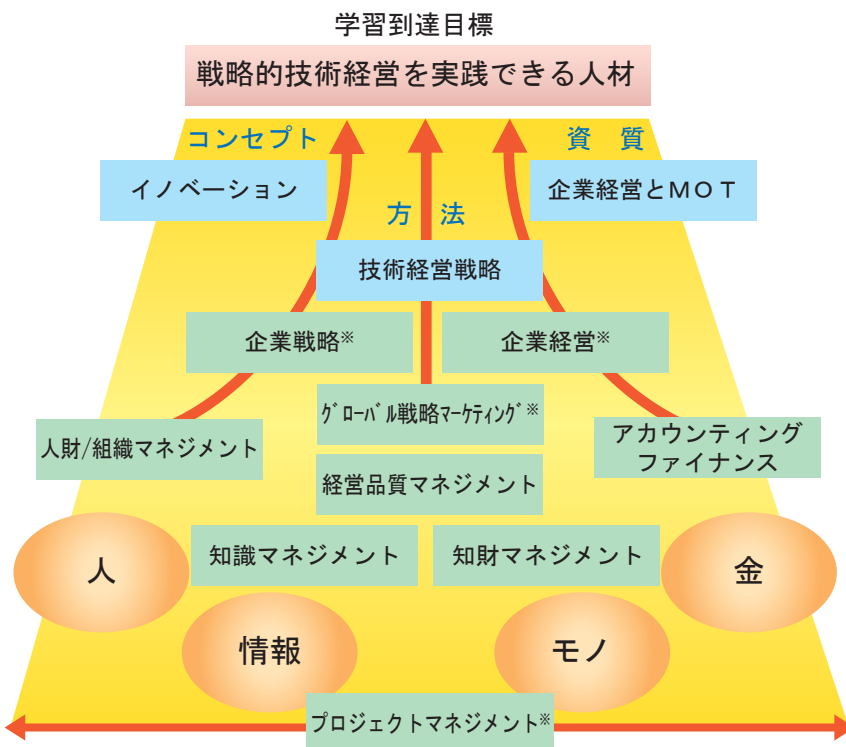
キャリアアップMOTプログラムは、本学の技術経営(MOT)教育ノウハウ、現場・実践を意識したカリキュラム(シミュレーション、ケース教材)、少人数制による質の高い講義と相互学習を通じて、次世代の企業経営を担う中核人材のキャリアアップを支援します。

「エッセンシャルMOTコース」の他、「知的財産戦略コース」など、MOTに関連する分野ごとのプログラムも提供しております。



カリキュラムマップと学習到達目標

エッセンシャルMOTコース



※演習科目でシミュレーション教材を用いて学びます。

科目の学習目標の例(平成23年度)

イノベーション論

- ・本カリキュラムでMOT(技術経営)を1年間学習するスタートに当たり、MOTの役割や意義を理解する。
- ・企業および社会におけるイノベーションとそれを生み出す研究開発の課題を理解する。

技術経営戦略論

経営戦略は、市場の不確実性を軽減して、企業目標の実現のための最適な資源蓄積や活用の提示であると同時に組織メンバーを説得できるだけの論理性を持たなければならない。授業では、企業の持続的な競争優位性に焦点を当て、同じ事業環境下において競合企業間の収益格差がなぜ生まれるのか、という論理的フレームワークを援用して、戦略策定の論理性を高める経営戦略論の基礎的な知識の学習を目標とする。

企業経営とMOT

- ・企業にとってのイノベーションの意義とMOTを理解し、イノベーターとしての戦い方を学ぶ。
- ・イノベーションと起業のための経営者のあり方を学ぶ。

企業経営(グループ演習)

コンピュータ上に構築された仮想の市場での企業経営を通じて、①PDCAサイクルの実施能力、②コンピュータツールの実践的活用能力、③グループディスカッション能力、④プレゼンテーション能力など、問題解決型人材に必要な実践的能力の向上を目指す。

学習支援システム/受講実績

講義中ならびに自己学習を支援するシステムです。

学習支援システム

グループ学習支援システム(GMSS:Group Memory Support System)は、Web上でディスカッションや意見交換ができ、インターネット環境があれば距離的・時間的制約を緩和できます。

あるテーマについて、グループを作成し、限定したメンバー内で、深くディスカッションすることができます。「議題」を提案し、その議題に対してグループメンバー間で意見交換を行います(発言する)。発言の際に「新しい意見」「融合意見」など発言内容の種類を選択することになっており、これにより議論が構造化(可視化)されます。限られた学習環境において学習利便性を高めます。



自習用教材

自己学習用にeラーニング教材、ケース教材、DVD教材をご用意しております。

【eラーニング】

- ・ファイナンス&アカウントिंग(10テーマ、各10分程度)
- ・知的財産戦略マネジメント(7テーマ、各15分程度)

【DVD教材】

- ・企業経営者やイノベーションに関するDVDの視聴(貸与)が可能



受講実績

【受講者層のご紹介】

これからマネジメントを担っていく若手から、経営者として活躍されている方など技術経営のエッセンスを体系的に学びたい社会人の方が参加しています。

所属先は大手企業にお勤めの方が6~7割、中小・ベンチャー企業にお勤めの方が3~4割です。業種は製造業、サービス業、コンサルタント業などで、職種も経営者、マネージャー、研究職、企画職など多岐に渡ります。

MOTの学びを通じて仕事上の課題解決や自らのスキルアップを図るなど、高い学習意欲を持つ方々が参加しており、受講生同士の交流はお互いの刺激にもなっています。



【受講者の声】(受講アンケートより)

- ・イノベーション論では詳しい理論があるわけではなく、自らがイノベーションを考えなければならないということを感じられた。
- ・品質マネジメントの考え方が、非常に広い適用範囲を持っていることがわかった。
- ・一般論だけでなく実際の事例と結び付けて話をしていただいたので仕事にフィードバックすることができた。
- ・とくにグループディスカッションでは密度の濃い議論ができて、効果的に結論に近づくことができ、今後の課題も出てきた。職種の違う方からの意見が自分の視野を広げるのに役立ち、大変満足している。
- ・学習支援システム(GMSS)は、議論のパスが見えたお蔭で、議論の流れがとてもわかりやすかった点よかった。
- ・現在携わっている業務とは全く違う分野の話も多く、大変刺激になりました。これから先、何か新しい分野(勉強でも仕事でも)に挑戦していく勇気をいただいたと思います。今すぐとりかかれなくても、視野を広げることができ、これから先、物の見方、考え方など参考になることが多かったと思います。

| アンケート結果 (平成 23 年度) | 5段階評価 |
|---|-------|
| 「エッセンシャルMOT」の授業の総合的な満足度はどのくらいですか。 | 4.2 |
| 「エッセンシャルMOT」の授業で学んだことが今後自分の業務に役立つと考えていますか。 | 4.4 |
| キャリアアップMOTとして働きながら技術経営を学ぶことは、ご自身のキャリア形成※に影響があったと思いますか。 ※昇進や転職などに限らず、職業や働き方に対する考え方の変化も含めます。 | 4.4 |

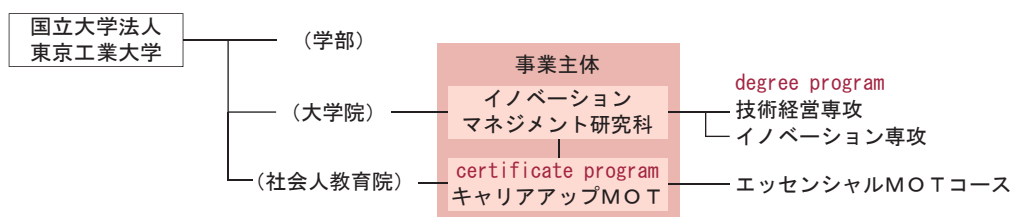
イノベーションマネジメント研究科とは

イノベーションマネジメント研究科は平成17年4月に本学6番目の大学院として設置されました。本研究科には、本学ではじめての専門職大学院である技術経営専攻(専門職学位課程:修士)と、その博士課程であるイノベーション専攻があります。本研究科は、ここ数年叫ばれてきたわが国の産業競争力として、技術や特許は世界のトップレベルにあるのに、そのマネジメントが弱いために著しくその地位を下げているという国を挙げての要請に応えるものです。

※詳細は下記のURLよりご覧ください。
<http://www.mot.titech.ac.jp/index.html>

実施体制

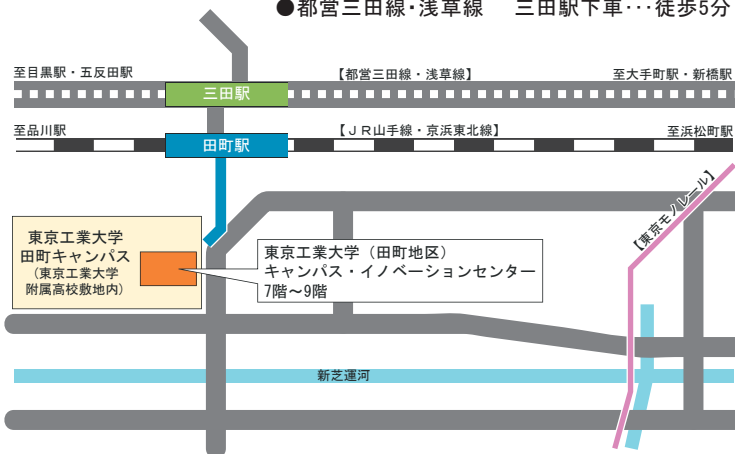
キャリアアップMOTプログラムは東京工業大学社会人教育院のもと、大学院イノベーションマネジメント研究科が事業主体となり運営いたします。



交通案内

■田町キャンパス 所在地: 〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
 キャンパス・イノベーションセンター

- JR山手線・京浜東北線 田町駅下車…徒歩1分
- 都営三田線・浅草線 三田駅下車…徒歩5分



キャンパス・イノベーションセンター

※イノベーションマネジメント研究科の各キャンパスの詳細は下記のURLよりご確認ください。
<http://www.mot.titech.ac.jp/campus.html>

プログラム説明会(実施予定)

1月25日(水)19時より田町キャンパスで説明会を予定しております。参加申込はWebサイトより受付しております。最新情報はWebサイトをご参照ください。

東京工業大学大学院
 イノベーションマネジメント研究科CUMOT事務局
 問い合わせ先E-mail: cumot-info@mot.titech.ac.jp
 WebサイトURL: <http://www.mot.titech.ac.jp/cumot/>